

元オリーブ園を活用した放牧

熊本県天草市

前田牧場

前田竜一

○熊本県の天草地域

熊本県の南西部に位置する島

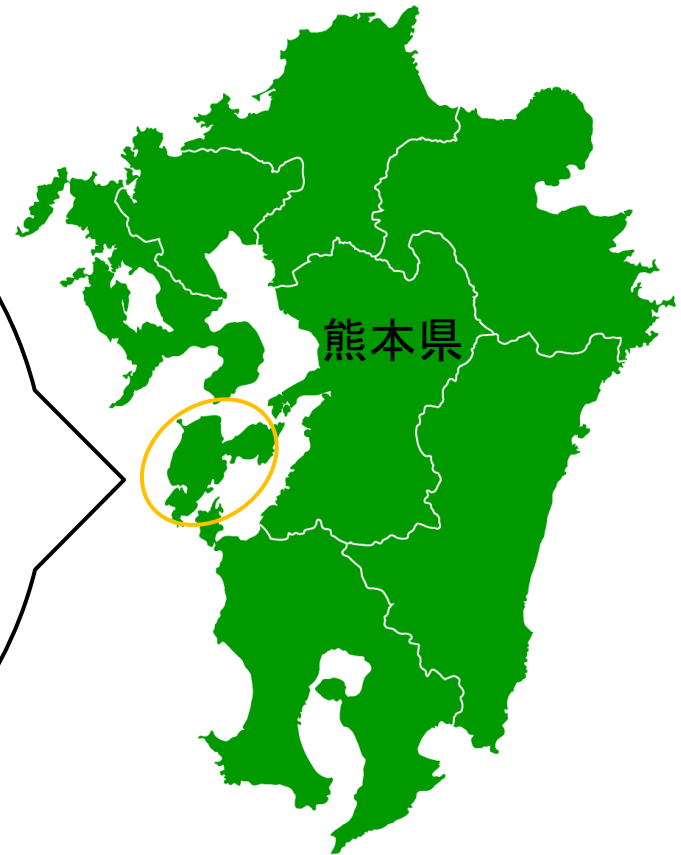
天草市、上天草市、苓北町の3つからなる

○天草地域の畜産

繁殖農家が多い。繁殖経営：170戸で3,817頭



天草地域



経営概要

家畜	黒毛和種 成雌牛 4 1 頭 育成牛 9 頭 子牛 3 8 頭
耕地面積	放牧地 1 0 ha 運動場 5 ha
施設・機械	牛舎 2 棟 2 トンダンプ車 タイヤショベル トラクター 3 台 飼料収穫機械一式
労働力	1 人
飼料 (栽培管理は耕種農家の任意組合に委託。 収穫のみ行っている。)	WCS 5 ha イタリアンライグラス 5 ha



牛舎+運動場 (5 ha)

- ・ 分娩2カ月前から利用
- ・ 子牛は4カ月齢まで親に付け自然哺育を行っている

牛舎

放牧地 (5月～11月 10ha
12月～4月 1ha)

- ・ 妊娠80日～分娩2カ月前まで
- ・ 常時、15頭飼養

5月～11月 ノシバやカヤといった
放牧地に生えている
野草と少量の濃厚飼料で放牧

12月～4月 WCSを飽食
配合飼料は週に1回 1～2kg程度



放牧を始めた理由

- ・ 農業大学時代時代の研修先であった中村和章氏の影響が大きい。高密度で飼養せず、牛のストレスが少ない放牧に魅力を感じた。
- ・ 天草地方は氷点下にならないことから冬場でも放牧がしやすい環境であった。



放牧開始までの経緯

- ・ 南西向きで日当たりが良い土地で、平成29年まではオリーブ園として使われていたが、上手くいかずに耕作放棄地となる
→その土地を購入した
- ・ 放牧開始にあたっては天草市の放牧に係る補助事業を活用し、電気牧柵を設置した



放牧地の造成①

- ・ オリーブ園を運営していた会社がオリーブ栽培をやめてからも定期的に管理はしていた
→そのため、そこまで荒れていなかった
- ・ 崖だった部分や生い茂っていた部分もあったが、放牧をすることで牛たちが自ら道を作った



牛が自ら作った道

BEFORE



AFTER



BEFORE



AFTER



放牧地の造成②

- ・ ホームセンターで購入したノシバを毎年少しずつ放牧地に置いていき、牛自身に鎮圧してもらうことで定着を図っている

【ノシバを選んだ理由】

- ・ ノシバの生長点は低く、牛が採食しても生長点が食べられないことがない
- ・ 安価に導入できる
- ・ 一部に植えることである程度広がっていく



放牧地の造成③

- 電柵を整備。

放牧地にある給餌場の屋根に太陽光パネルを設置し、放牧地の電柵の電気を自給している。



放牧地の造成④

- ・ 牛舎から水を引き、水飲み場を設置

牛舎側の水道



水を引き、
水槽枳へ



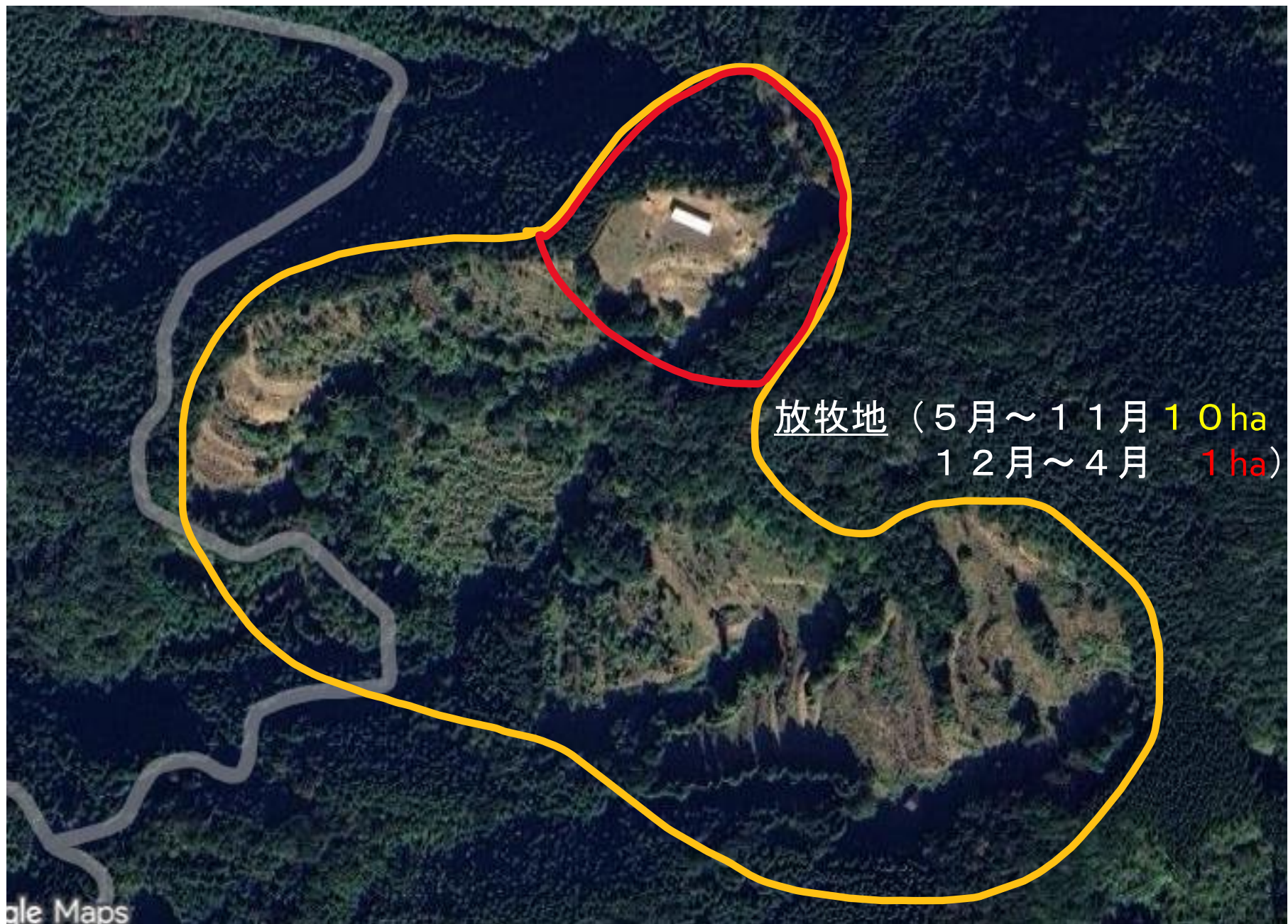
水飲み場

水道管は
地中を這わせている

放牧地の造成⑤

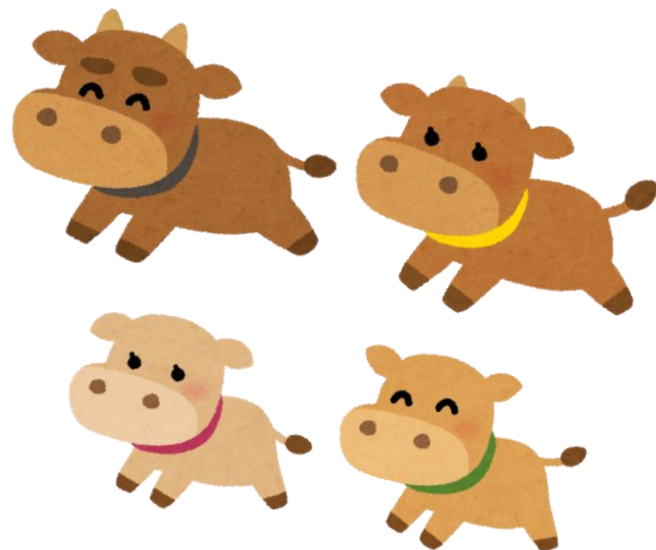
- ・ 電気牧柵を繋ぎ変えることで面積の変更可（1haと10ha）





放牧地 (5月~11月 1.0ha
12月~4月 1ha)

放牧をして良かった点



【飼養管理の省力化】

- ・ 削蹄をしなくて良い
 - ・ 頭数の割に堆肥化する量が少ない
- ★飼料のほとんどを自給飼料、県内産でまかなうことができる
- ★コストの削減に繋がる

【母牛の繁殖性向上】

- ・ 難産が少ない
- ★母牛のコンディションのメリハリがつく

★飼料のほとんどを自給飼料、県内産でまかなうことができています

①自給飼料

WCS 5 ha

イタリアンライグラス 5 ha

稲わら（地元耕種農家から堆肥と交換で頂いている）

②購入飼料（県内の他地域から）

イタリアンライグラス
稲わら } 4 ha

③輸入飼料

子牛用のチモシーのみ

放牧との組み合わせにより . . .

輸入飼料にほとんど頼らずに飼養管理ができています！

★コストの削減に繋がる

○従来の飼養

配合飼料 2 kg 粗飼料 8 kg 1日700円/頭のコスト

○5～11月の放牧期間

放牧地に生えている草のみ



1頭あたり

700円×30日×7カ月=147,000円の

コスト削減に！

★母牛のコンディションのメリハリがつく

- ・ 放牧によって日頃から運動し、
体重がある程度絞られている
- ・ お産前になって舎飼になっても母牛に偏って
栄養がいくわけではなく、子牛に栄養がいく
→子牛が元気に生まれる



課題と今後の目標

【課題】

- ・ 電柵のトラブル
 - 電源に近いところの電柵は電圧が高く焼き切れやすい
 - 焼き切れて牛が脱走するリスクがある
- ・ 運動場から放牧地への移動は、トラックで行う必要があるため、移動が大変

【目標】

- ・ 繁殖雌牛の増頭
41頭 ➡ 70頭
- ・ 牛舎の一本化
本渡町と志柿町にある牛舎を志柿町へ
- ・ 自給飼料の増産
県内他地域から購入している4ha分の粗飼料も自給する

～ご清聴ありがとうございました～

